

2011年3月11日、三陸沖を震源に国内観測史上最大の地震が発生し、津波や火災などにより東日本の広範囲な地域で甚大な被害が出ています。

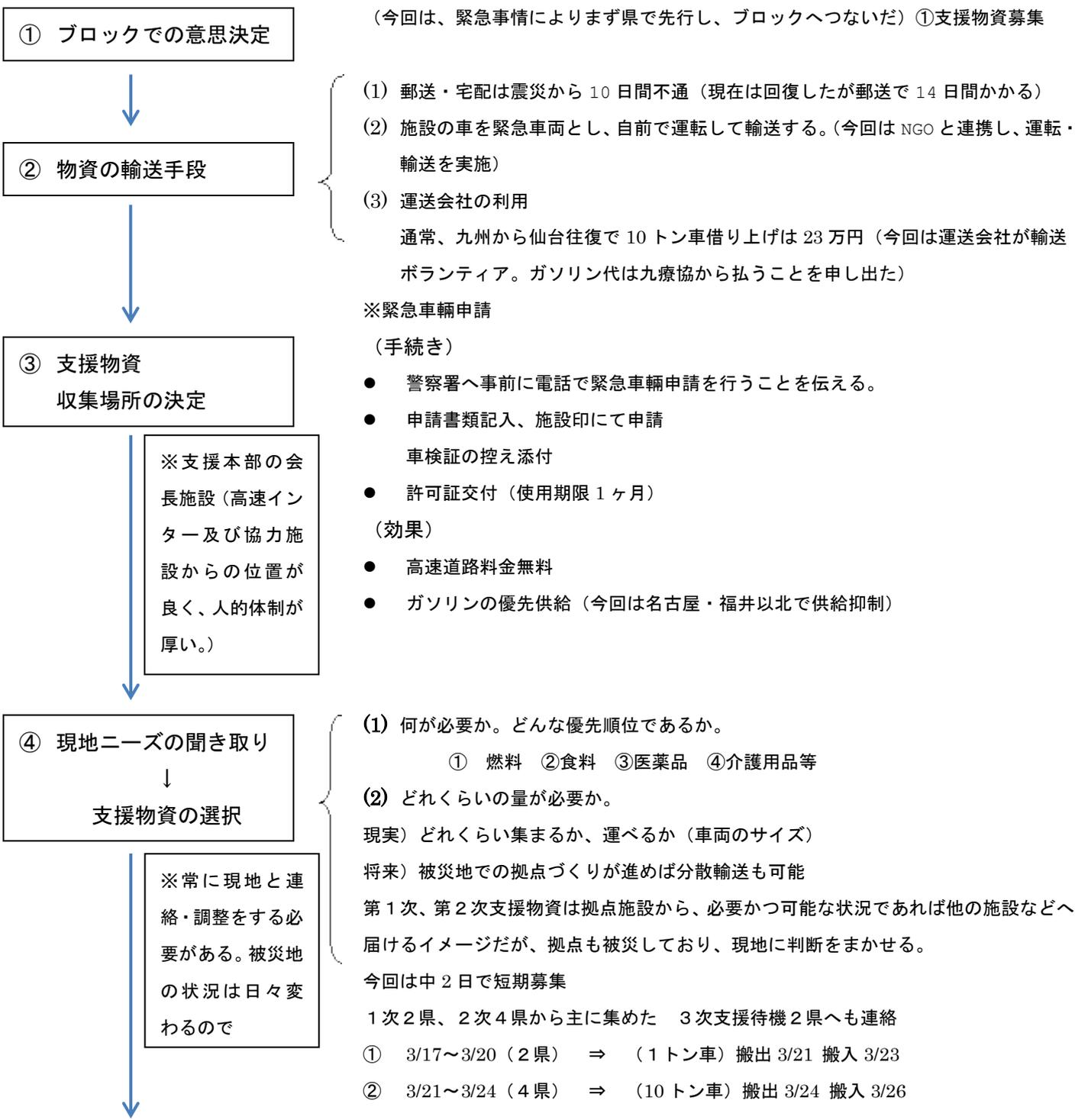
被災地では、震災当初より、障害者や障害者の暮す多くの施設等にも多くの被害が出ているであろうことが予測されました。

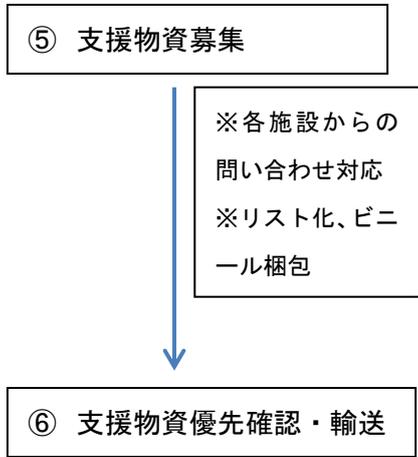
震災直後から数日間は被災地とは連絡の取れない状況の中、3月13日、当施設と兼ねてより親交のあった宮城県仙台市「ありのまま舎」の白江氏(全国身体障害者療護施設協議会東北ブロック会長)と、当施設長が連絡を取りながら、被災地の状況把握に努めると同時に、九州身体障害者療護施設協議会ブロック会長日野氏を始めとする各施設長、各関係機関と共に支援の準備を進めて参りました。

以下に、支援に至るまでの手順及び経過を記載します。

### 九療協 東北・関東大震災物資支援の経過手順

2011. 3. 26





**【課題】**

- 物資の支援は、現地搬入後保管場所を含め必要とする人々への移送分配において、人・車・ガソリンの確保の課題を残すものである。
- 幸い各施設の状況は当初より改善されていると伺うが、大きな震災を受けた現実をこれからも共有し、必要とされる長期的な協力を考えていきたい。
- ※ 協力施設へのお礼
- ※ 協力施設には途中経過情報をお伝えし、物資の追加、計画変更にも対応できる体制と意志の疎通を図ることが大切

**第 1 次支援物資輸送**

**身障協東北ブロック 仙台（ありのまま舎）行き**

**第 1 次支援物資搬送車（九州身体障害者療護施設協議会 & ベトナム育英会）経過とスケジュール**

- 3月16日 仙台からのメールに緊急支援実行の必要性を九療協会長・副会長で判断する。  
副会長所属のベトナム育英会（NGO）が現地行きのボランティアを予定していたので、連携協力を決定
- 3月17日 第1次支援物資抛出呼びかけ（福岡22施設・熊本13施設）  
緊急車両許可申請（福岡県浮羽警察署）
- 3月20日 支援物資収集期限  
15:00 車両（1tトラック）熊本出発（熊本・愛隣館所有車）  
16:00 支援物資仕分け、積み込み（福岡・千歳療護園）（日野・千歳療護園スタッフ、三浦・愛隣館スタッフ）  
20:00 千歳療護園出発「佐賀ベトナム育英会 代表秀嶋正孝・川原田知章(ちあき)へ引き継ぎ」
- 3月21日 車両九州出発  
17:30 北九州よりフェリーにて大阪港へ
- 3月22日  
5:30 大阪着  
陸路（東名高速）で東京へ  
19:00 東京から東北自動車道・国道4号線などで仙台へ向かう
- 3月23日  
7:00 仙台入りをめざす  
9:00 仙台「太白ありのまま舎」着予定  
☆1tトラックは、現地での輸送手段のため、ありのまま舎に当面使ってもら
- 3月25日 ☆秀嶋・川原田は可能な手段とルート（バス・JR・空路）にて帰路に就く  
① 仙台発 →（高速バス）東京 →（飛行機）福岡又は佐賀  
② 仙台発 →（高速バス）新潟 →（飛行機）福岡  
③ 仙台発 →（バス）山形 →（飛行機）大阪 →（飛行機）福岡  
☆夜までに福岡着をめざす

目的地

太白ありのまま舎（宮城県）

〒982-0252

宮城県仙台市太白区茂庭台 2-15-30

TEL : 022-281-1200 FAX : 022-281-1555

白江 浩（東北ブロック会長・ありのまま舎常務理事）

東北ブロック緊急連絡先

すげさわの丘（山形県）

〒990-2367

山形県山形市すげさわの丘 727-47

TEL : 023-643-6160 FAX : 023-643-6163

荒井 与志久（東北ブロック副会長）

支援物資搬送ボランティア

秀嶋 正孝（ベトナム育英会（佐賀市）代表・至徳寺住職・ベトナム料理コンビンザン経営）

川原田 知章（ベトナム育英会・多久市青い鳥保育園副園長）

本部

千歳療護園

〒839-1213

福岡県久留米市田主丸町益生田 256-1

TEL : 0943-73-1793

日野 博愛

副本部

愛隣館

〒861-0551

熊本県山鹿市津留 2022

TEL:0968-43-2771

三浦 貴子